

蒼き鋼の ARPEGGIO OF BLUE STEEL  
アペジオ

Depth: 168

CisC 个人汉化

那是群像在

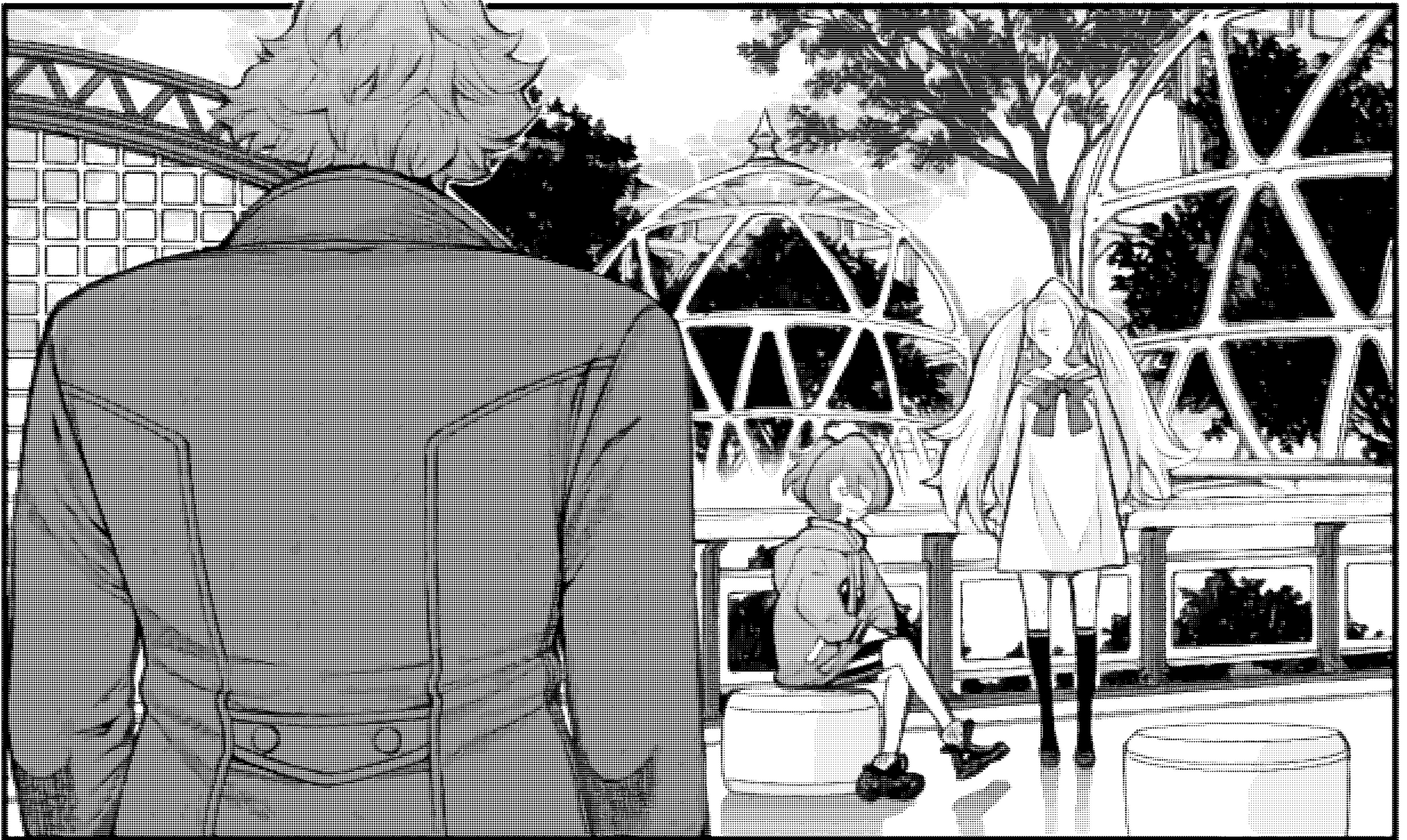
闹别扭罢了

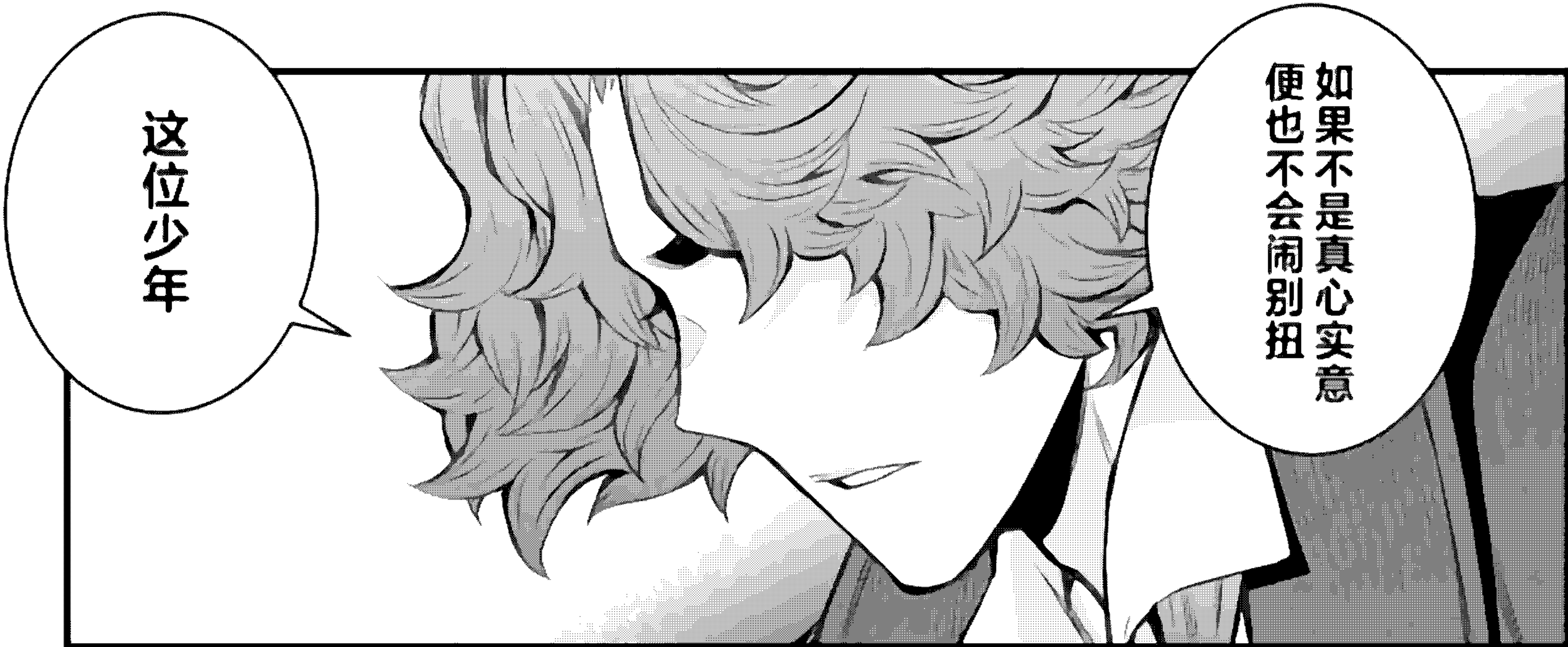
最新刊第29卷、発売!!

▼  
ぐんぞう シヴァルリイ  
群像と騎士団ガウスに割って入ったイオナ……

Ark Performance







如果不是真心实意  
便也不会闹别扭

这位少年



是真心地想要  
向世界传达某种信息



那个时候的  
群像

面对身为  
战斗民族的我们  
只能通过战斗这种方式  
进行交流

所以我们也告诉他  
必须通过战斗  
来表达自己的意志

丰<sub>2</sub>





我是在战斗模拟器中  
与群像初次相遇  
并且互相认识



那个时候的我  
也是这样

实际上



至少对于我们  
海雾而言



乃是一沟通——  
这一宏大世界中的  
一个侧面——

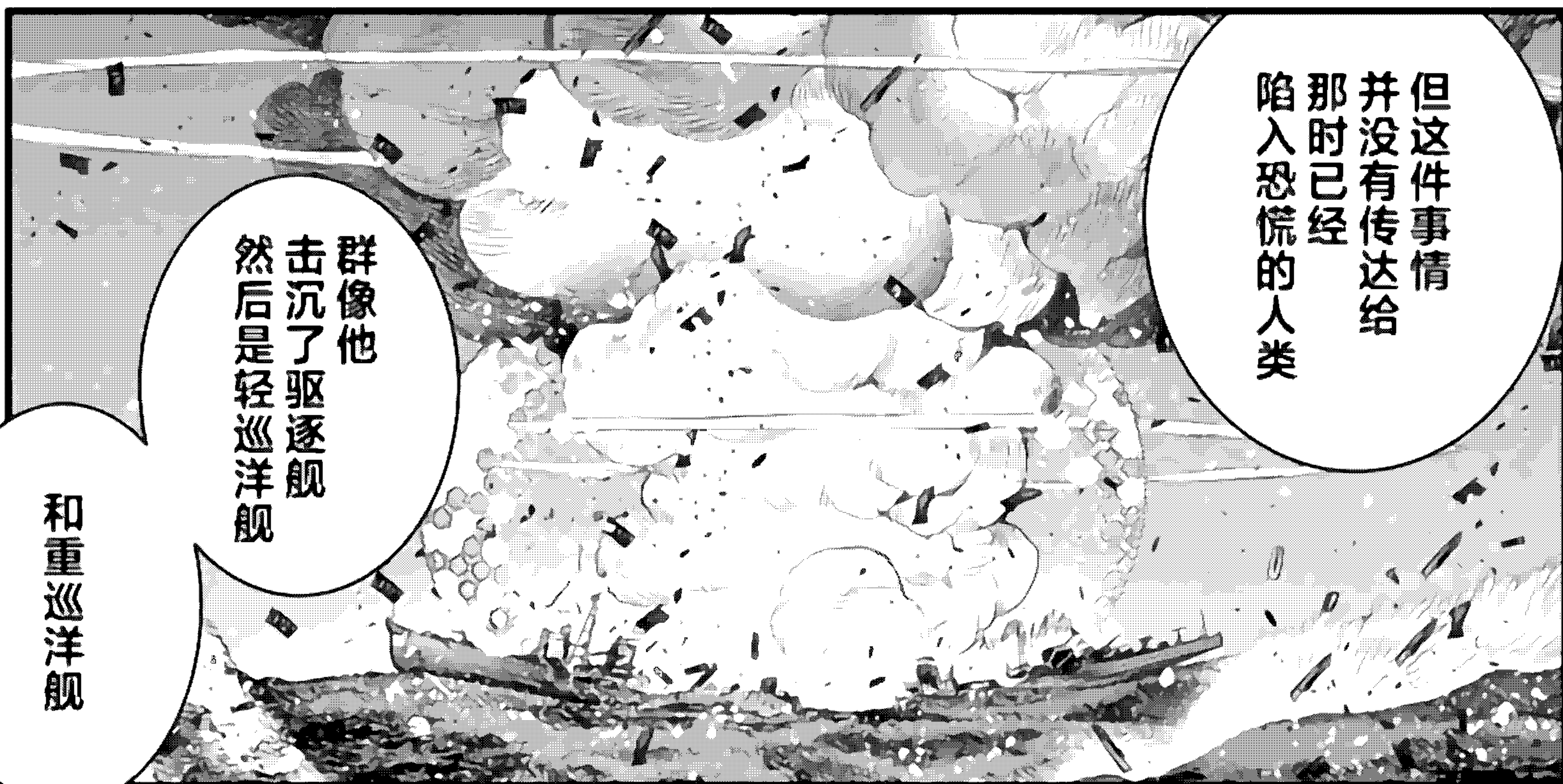
所谓战斗

据说这是  
某位人物的  
名言名言





这就是正确答案



但这件事情  
并没有传达给  
那时已经  
陷入恐慌的人类

群像他  
击沉了驱逐舰  
然后是轻巡洋舰

和重巡洋舰



直到最后  
击沉了大战舰  
甚至让整个  
海雾舰队沉默

尽管他赌上性命  
像这样向世界  
展示了无数次——



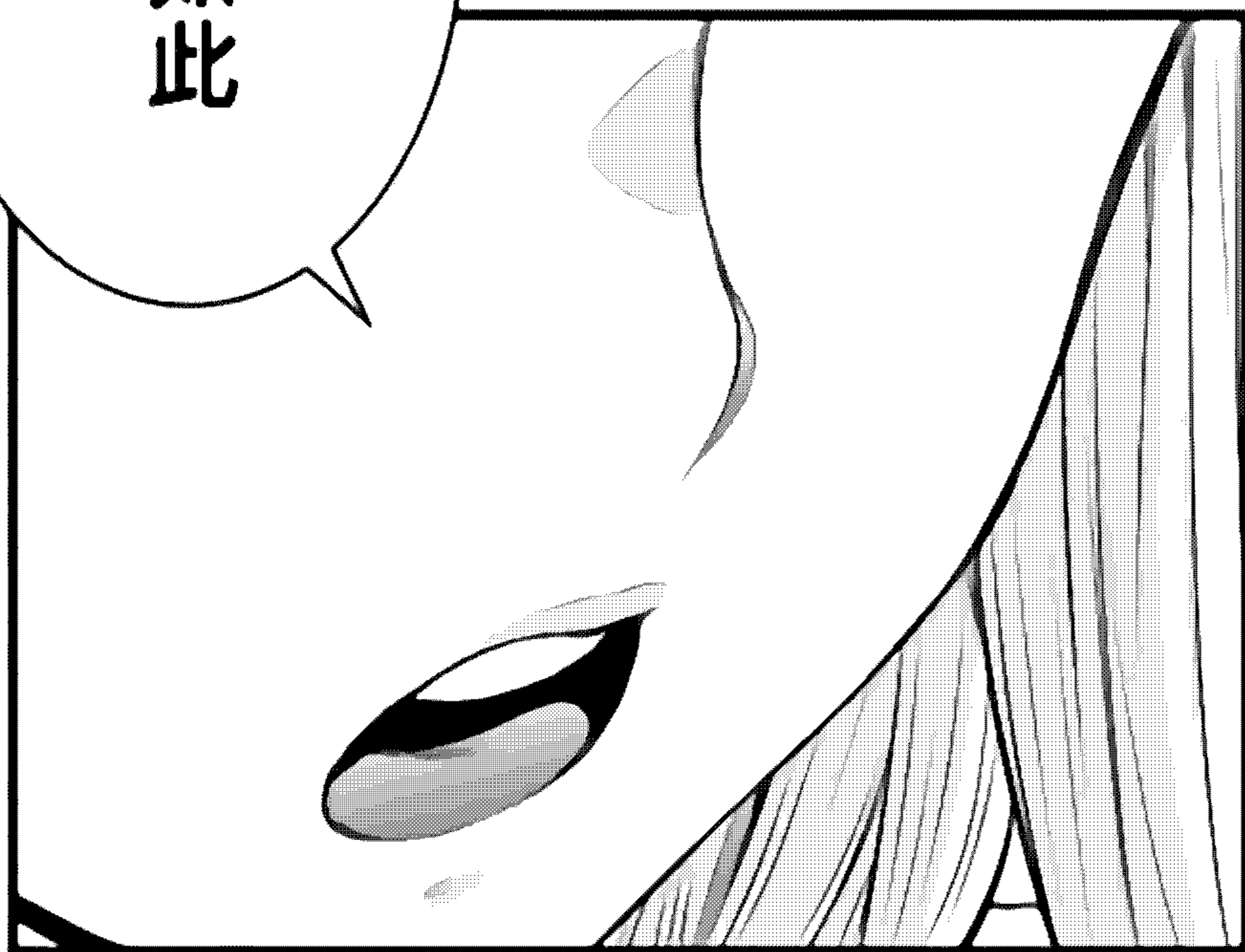
世界却

仍然无动于衷



也在观察着  
你们的  
所作所为

既然如此



我当然知道

毕竟我们  
一直在看着你们







不好意思

我呢  
刚刚是想说

我在你身上发现了  
你的父亲所没有的才能



而我想要让你

凭借这份才能  
去测试人类



.....

原来如此



你难道没有  
这样想过吗？

比如……  
在那个时候  
或者在那个地方  
要是做了  
不一样的选择

要是那时能拥有  
你现在的能力  
做出了不同的判断的话

是不是现在就能  
看到更加美好的  
一个世界了呢  
……这样

你一路走到现在  
肯定也牺牲了  
不少东西对吧？

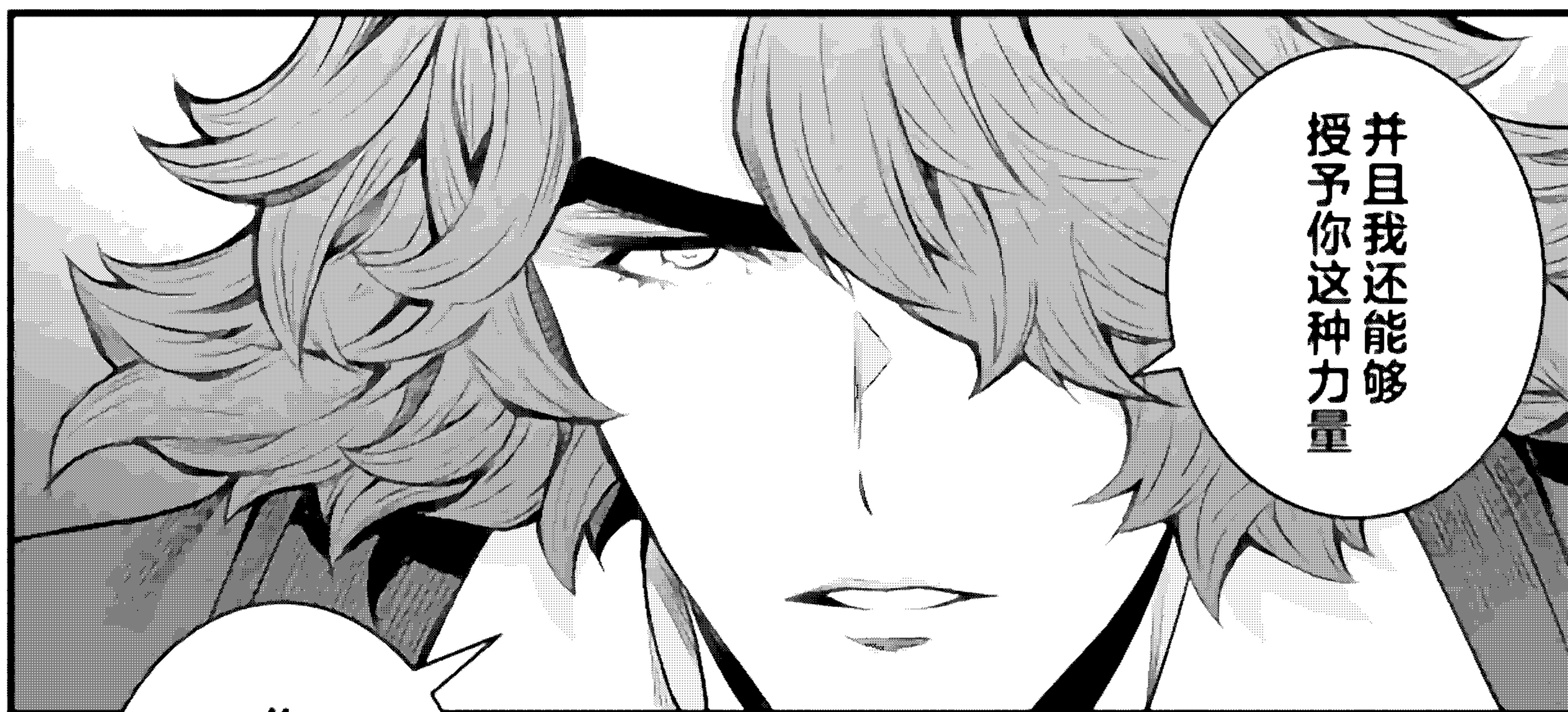
像是你曾经一度  
被祖国所放逐

像是你曾经一度  
几乎就要死亡



我认为你也有  
测试人类的资格

正因如此

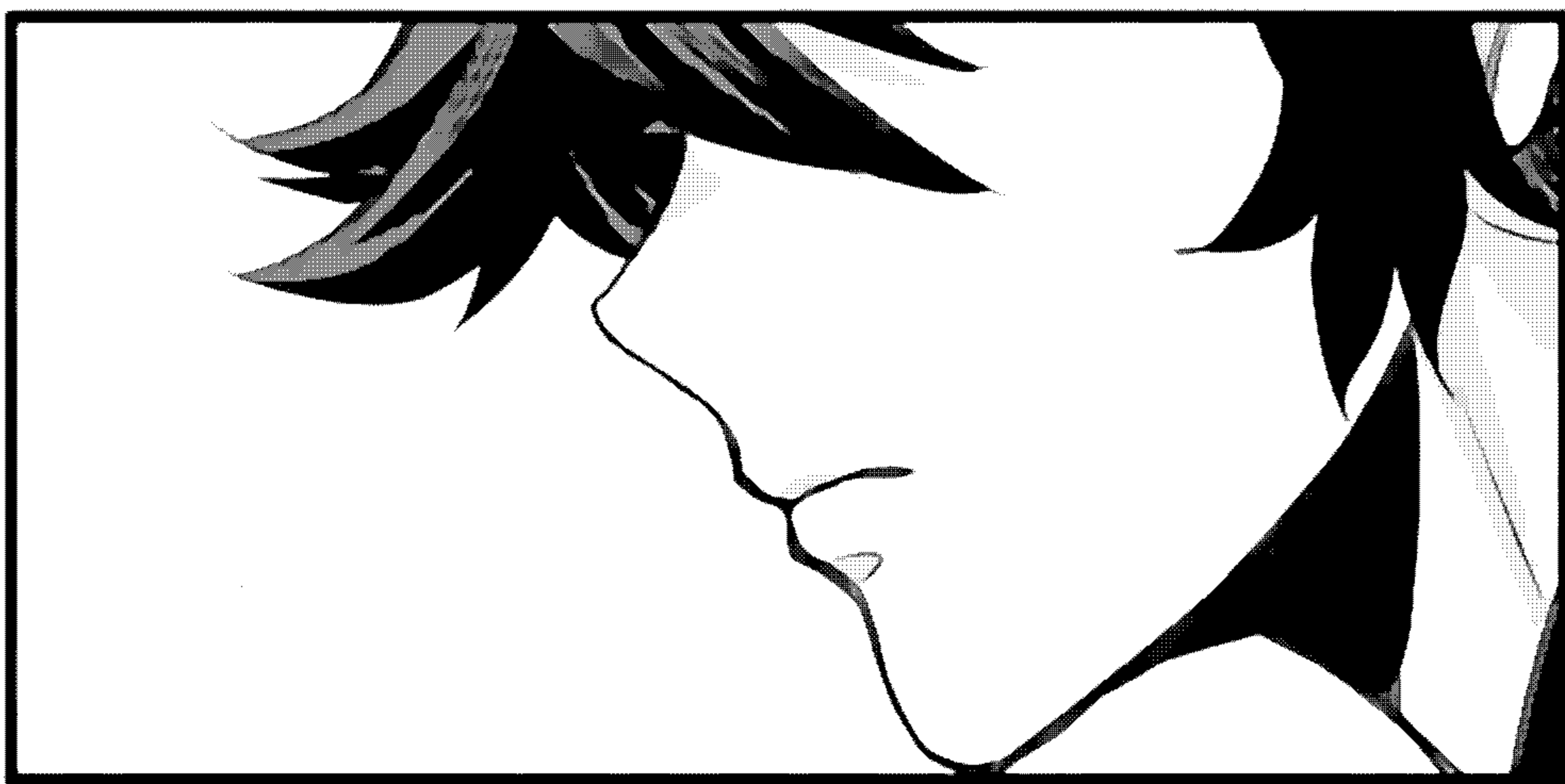
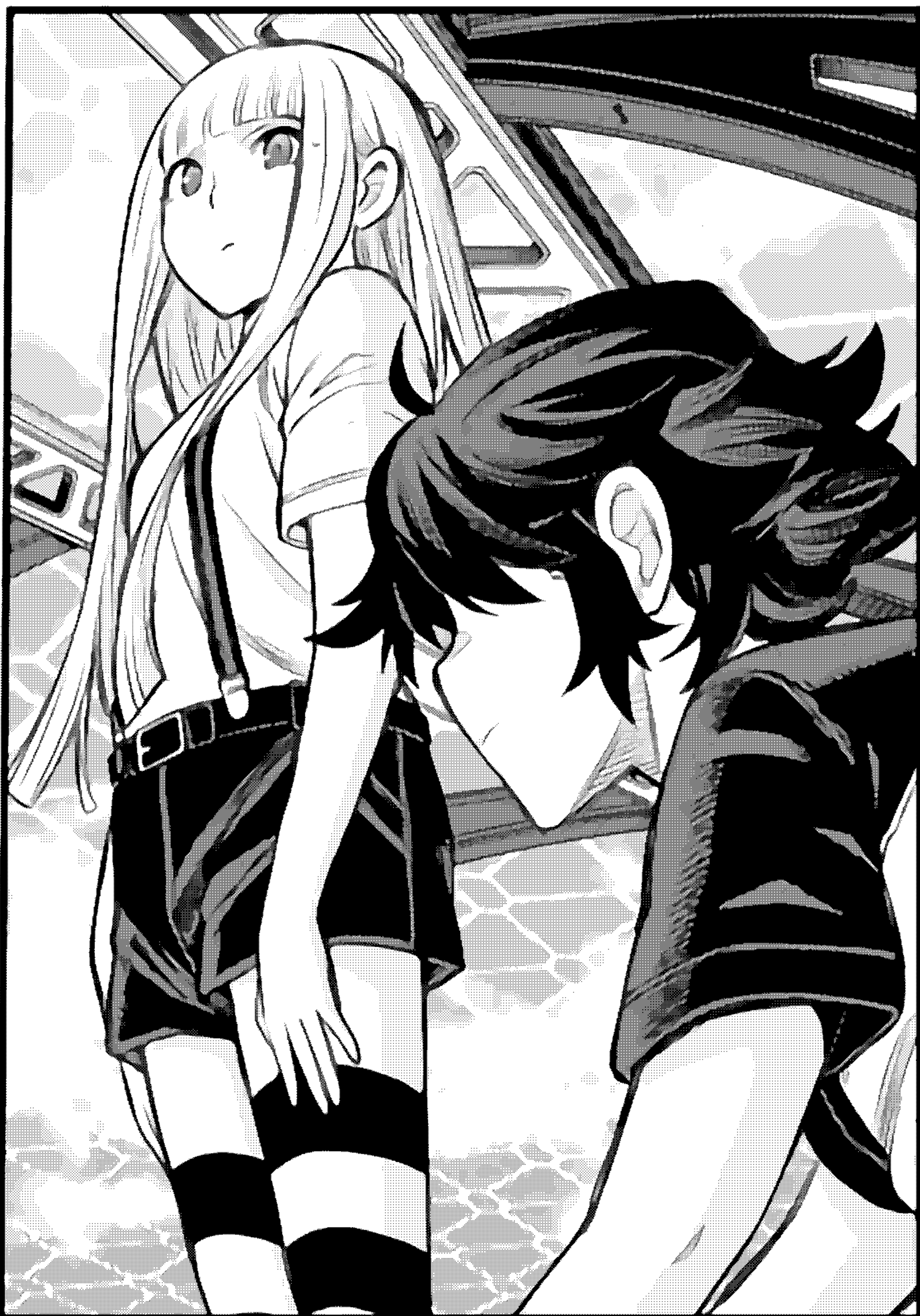


并且我还能够  
授予你这种力量



你意下如何?





上阴先生  
来见我的时候……



上阴先生  
来见我的时候……

我是很高兴的  
虽然那时我还想着  
尽量别和他见面呢



如今这个时代  
在资源匮乏的日本

从横滨跑来九州  
想必是抱有相当的觉悟  
也下了相当大的工夫



因为在  
闹别扭嘛

是啊……  
因为在闹别扭

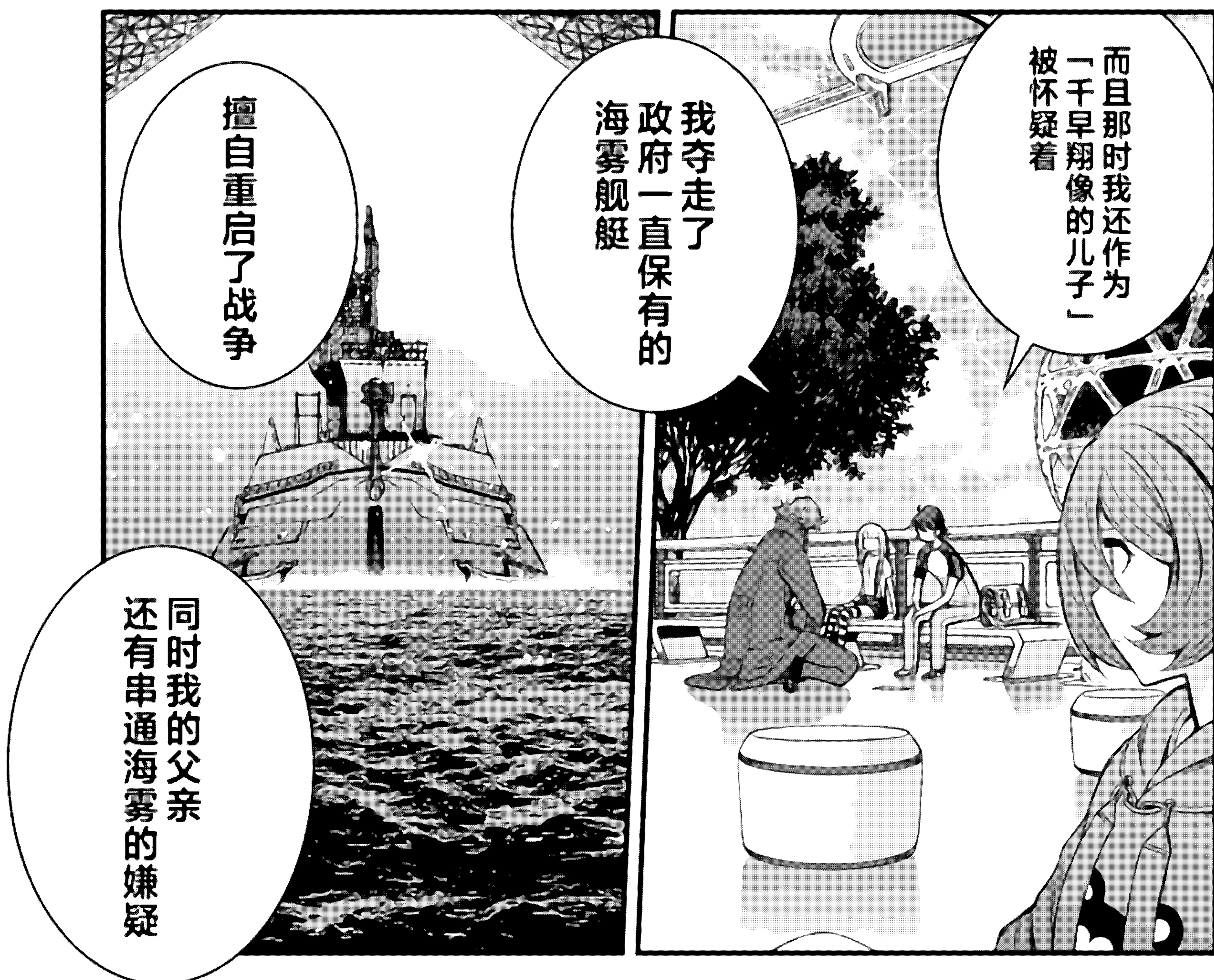




他这一趟行程  
决不能允许  
没有任何成果

否则他肯定会

受到各种人的责难  
也会失去至今为止  
积累的地位和特权吧



而且那时我还作为  
「千早翔像的儿子」  
被怀疑着

我夺走了  
政府一直保有的  
海雾舰艇

擅自重启了战争

同时我的父亲  
还有串通海雾的嫌疑



政府高官  
在极密情况下  
会见这样的人物

要是被发现了  
那他的人生也就  
到此为止了



然而他  
即便如此



仍然来  
找我见面了



然而他那是

为了利用你吧？

多半……  
是如此吧

不过  
他还是来了

他来到那里  
认可了  
我们的存在

虽然我们  
所做的事情  
完全没能传达出去

但我们的存在  
却成功传达出去了

那么

这不就还能  
继续吗？

是啊

确实是…

还能继续下去呢







坦白来说

我也确实是  
有些着急

因为除了我之外  
还受到那一位的  
宠爱的  
就只有你了

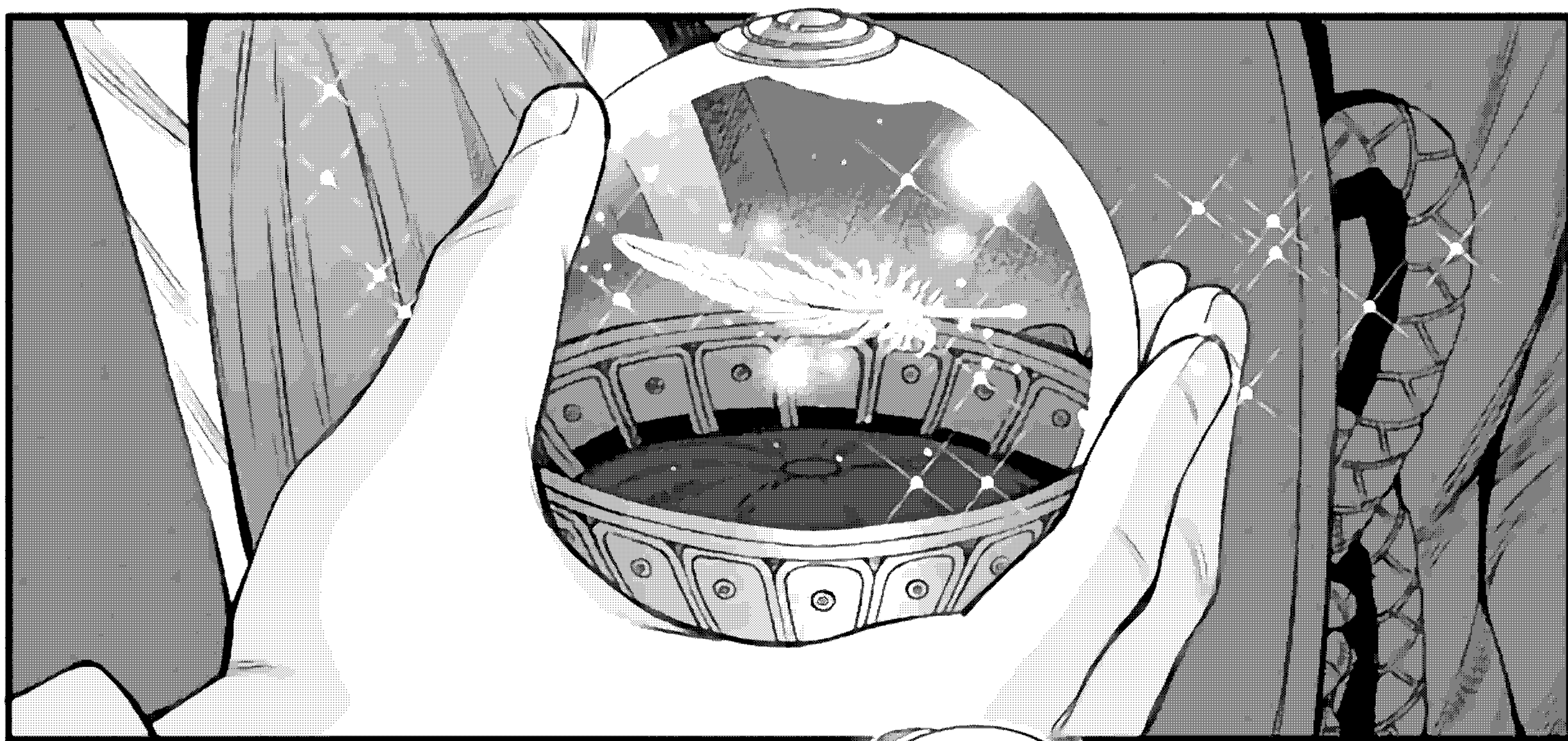
宠爱？

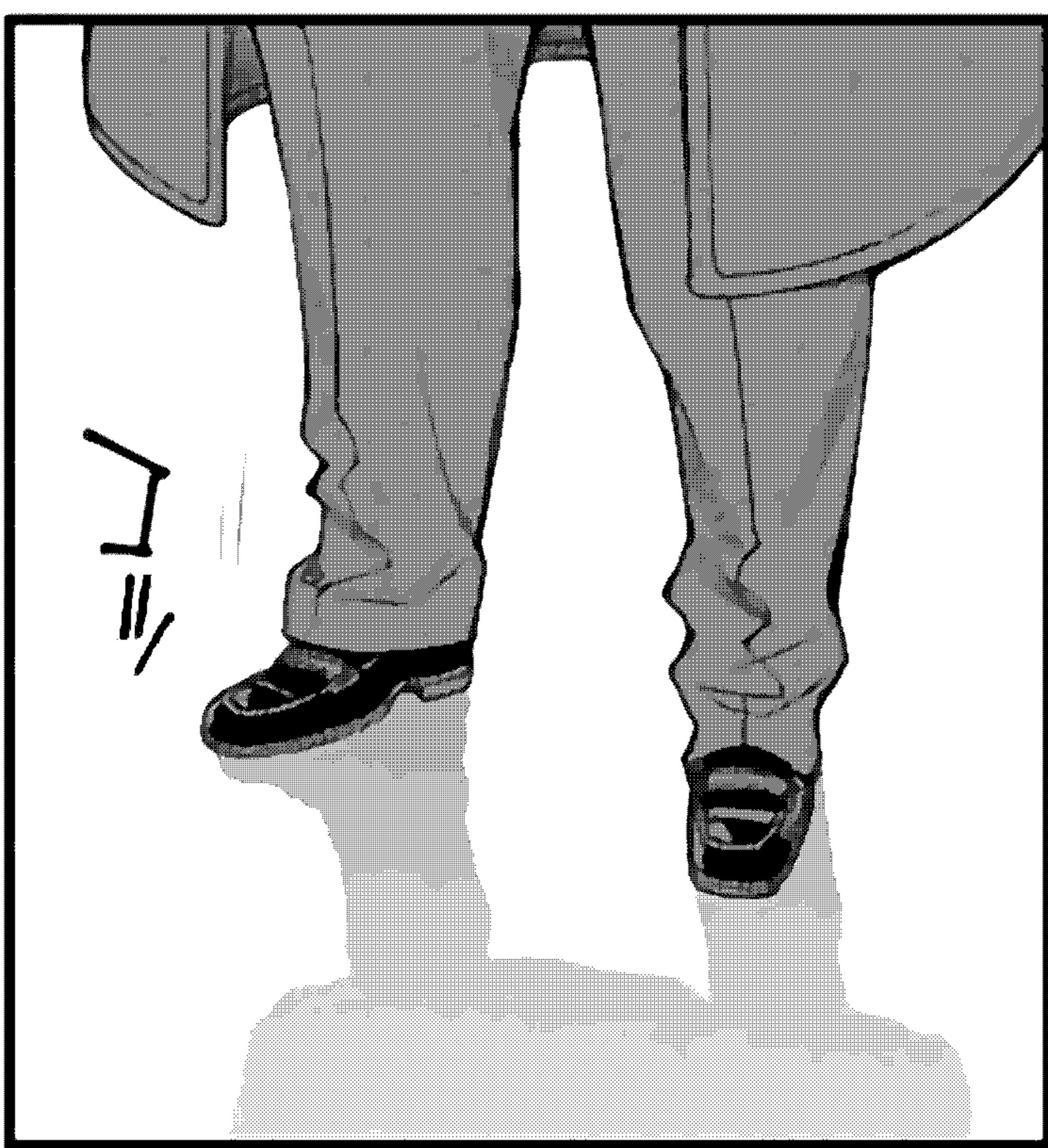
关于裁决者为何  
再生了你的身体  
又把你重新放进了  
世界这个大棋盘上  
这件事

我呢

还没办法揣摩出  
她的真实意图














希望你务必  
前来赴约

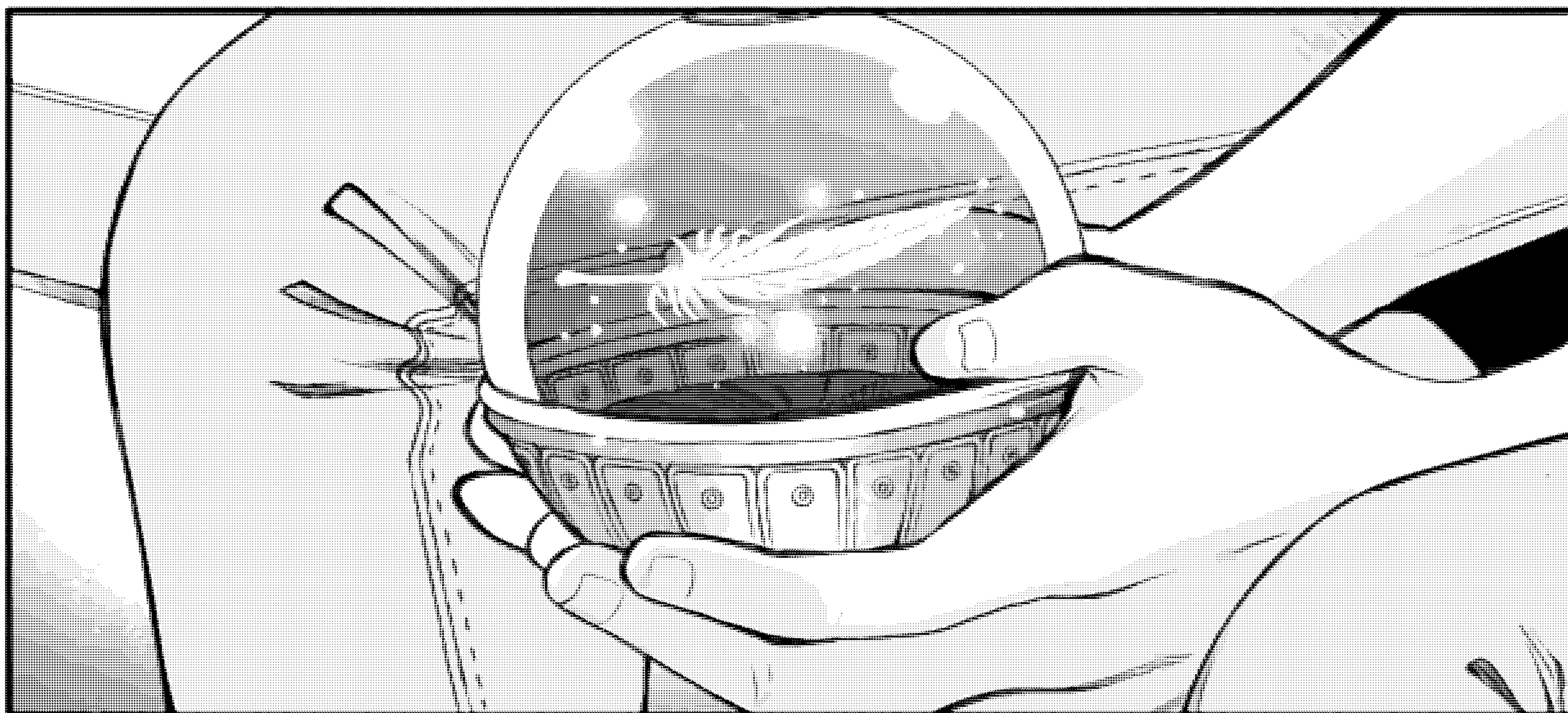


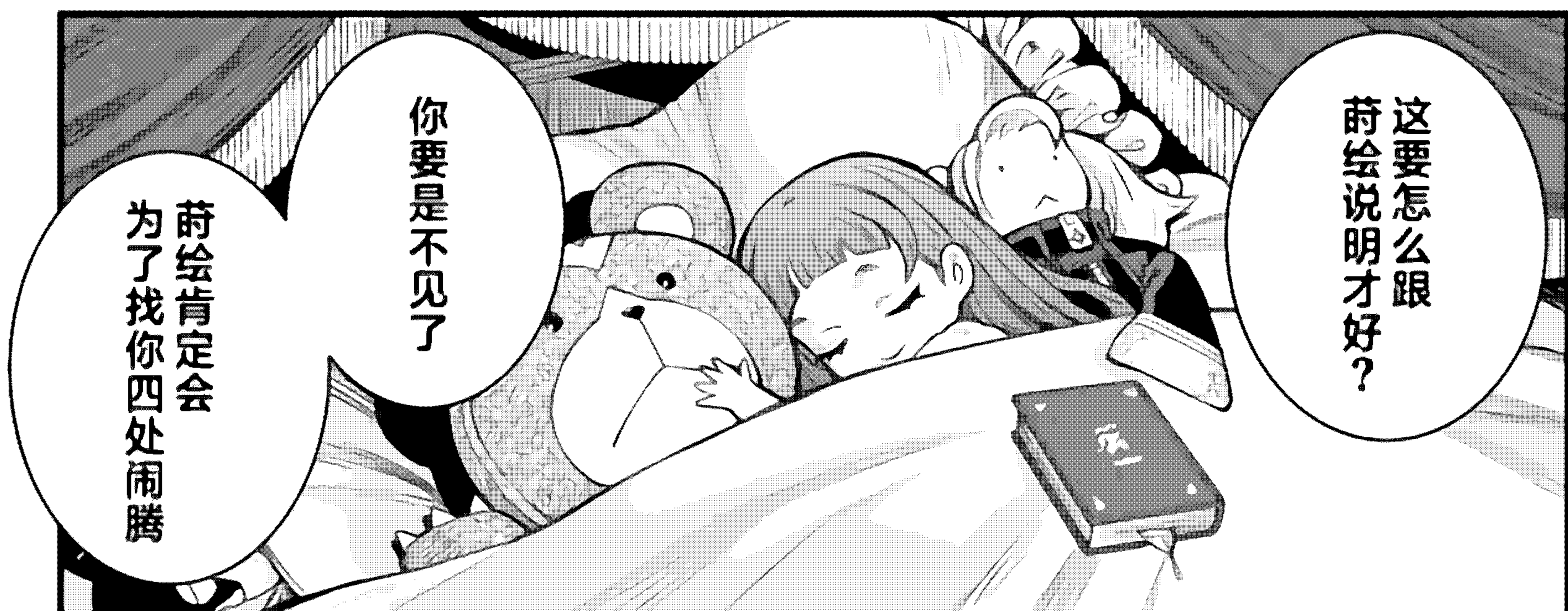
我期待着  
你的光临



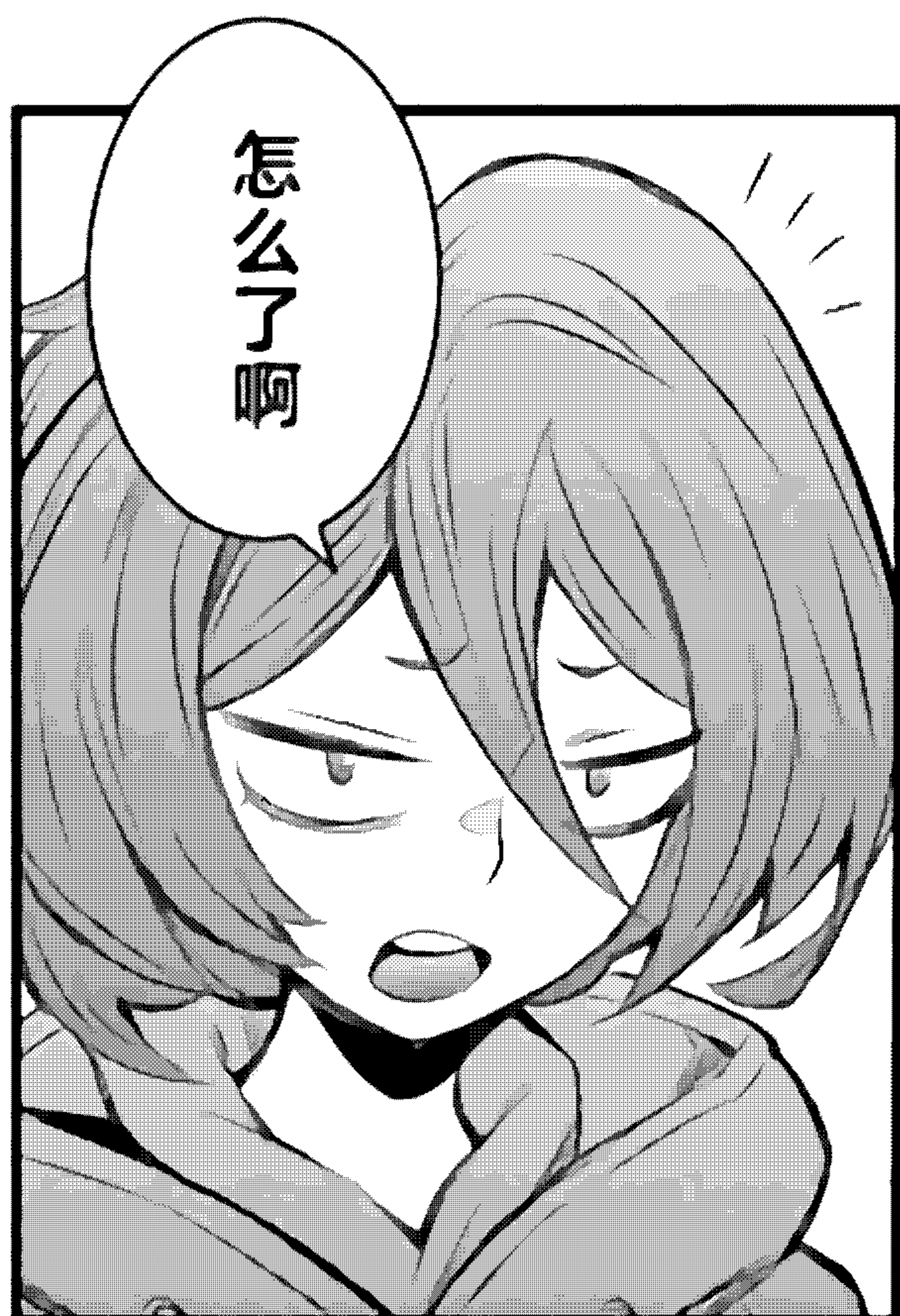
王啊









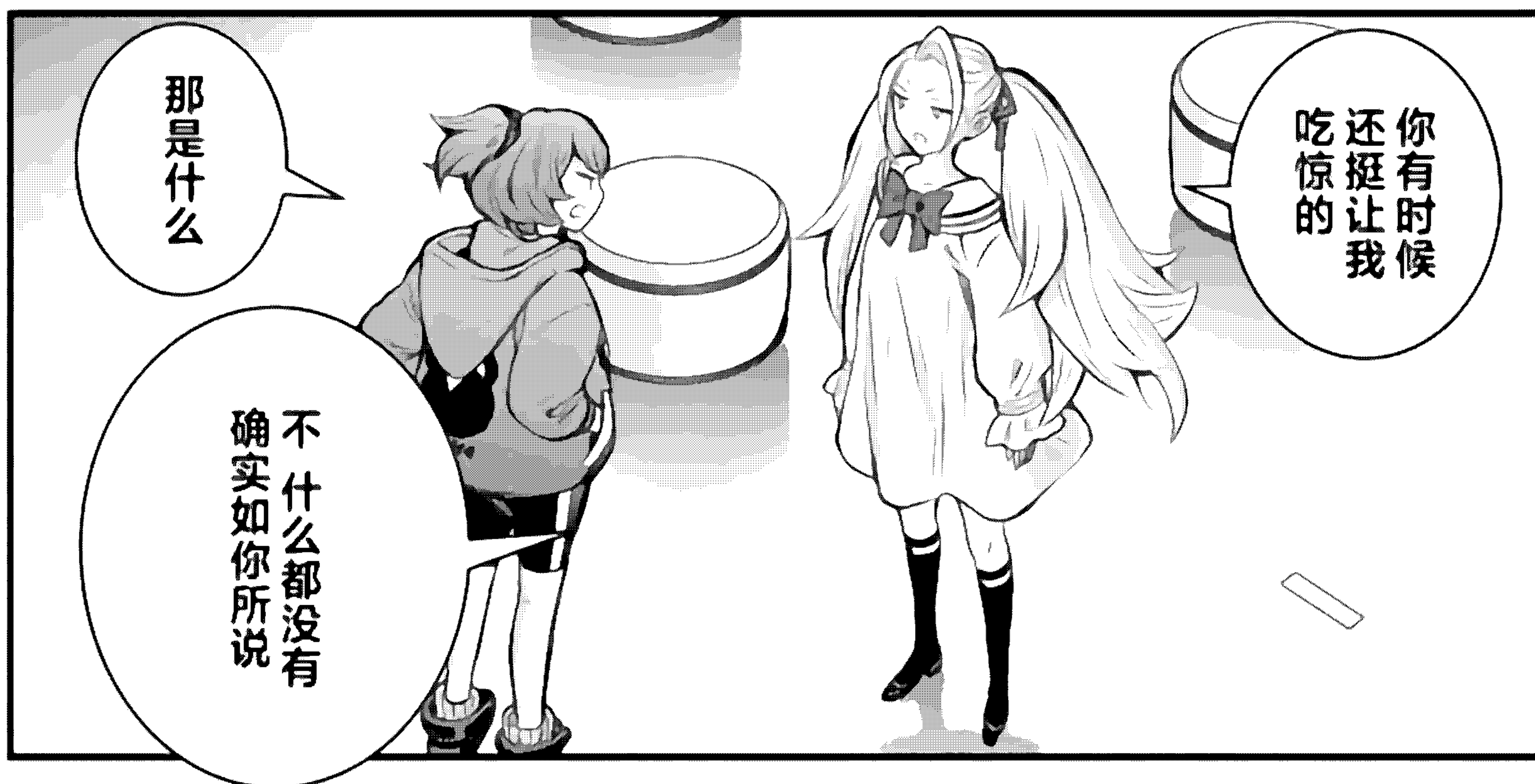


怎么了啊



对蒔绘来说  
最安全的地方  
就是和我们  
在一起的地方吧

.....



那是什么

不什么都没有  
确实如你所说

你有时候  
还挺让我  
吃惊的



千早群像！

可以吧？



好啊  
那就把摩耶  
也一起带上

那么  
我也一起去





对了！  
还有这事！  
那我这边的  
也拜托你了

你自己的事  
不会自己想吗？

别说这种  
无情的话嘛  
我们是姐妹舰吧？

又不是亲生的

哎呀  
这下又得引入  
舰队指挥的系统了

舰桥的操作界面  
之类的设计  
也得重新研究了

我知道了

真是要命

我也来帮忙吧

※译注：此处原文「腹違いのな」直译是说姓名和舅舅是异母姐妹，意思可能是她们现今的船体已经不是一个地方建造的了。



决定好大致样式  
之后会联系你的  
然后你再就行了

总之你就先  
在一边看着吧

你只要一行动  
总会引发什么事情



因此你给我  
在那待好了

：我这次  
是不是什么都  
没做啊

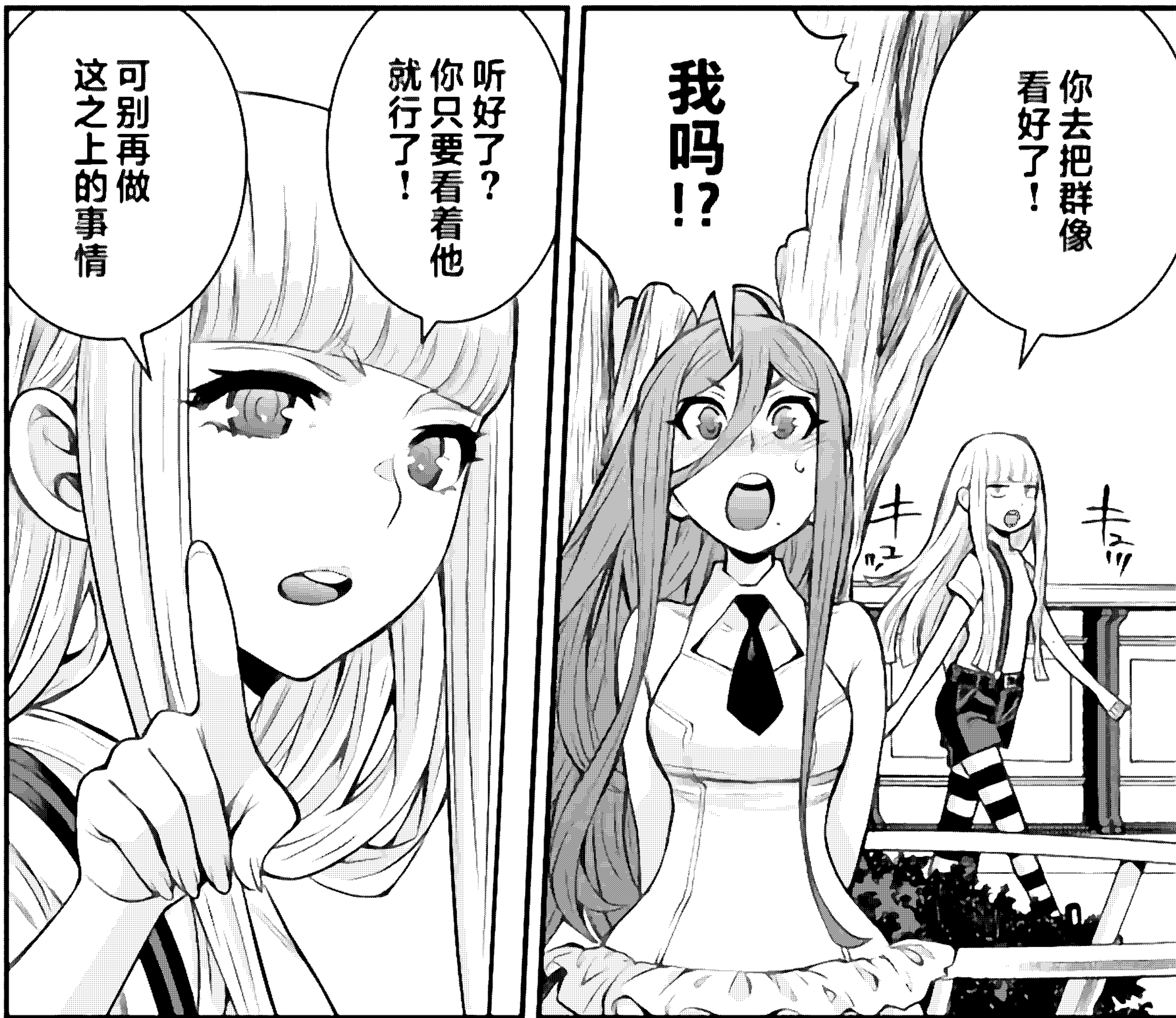
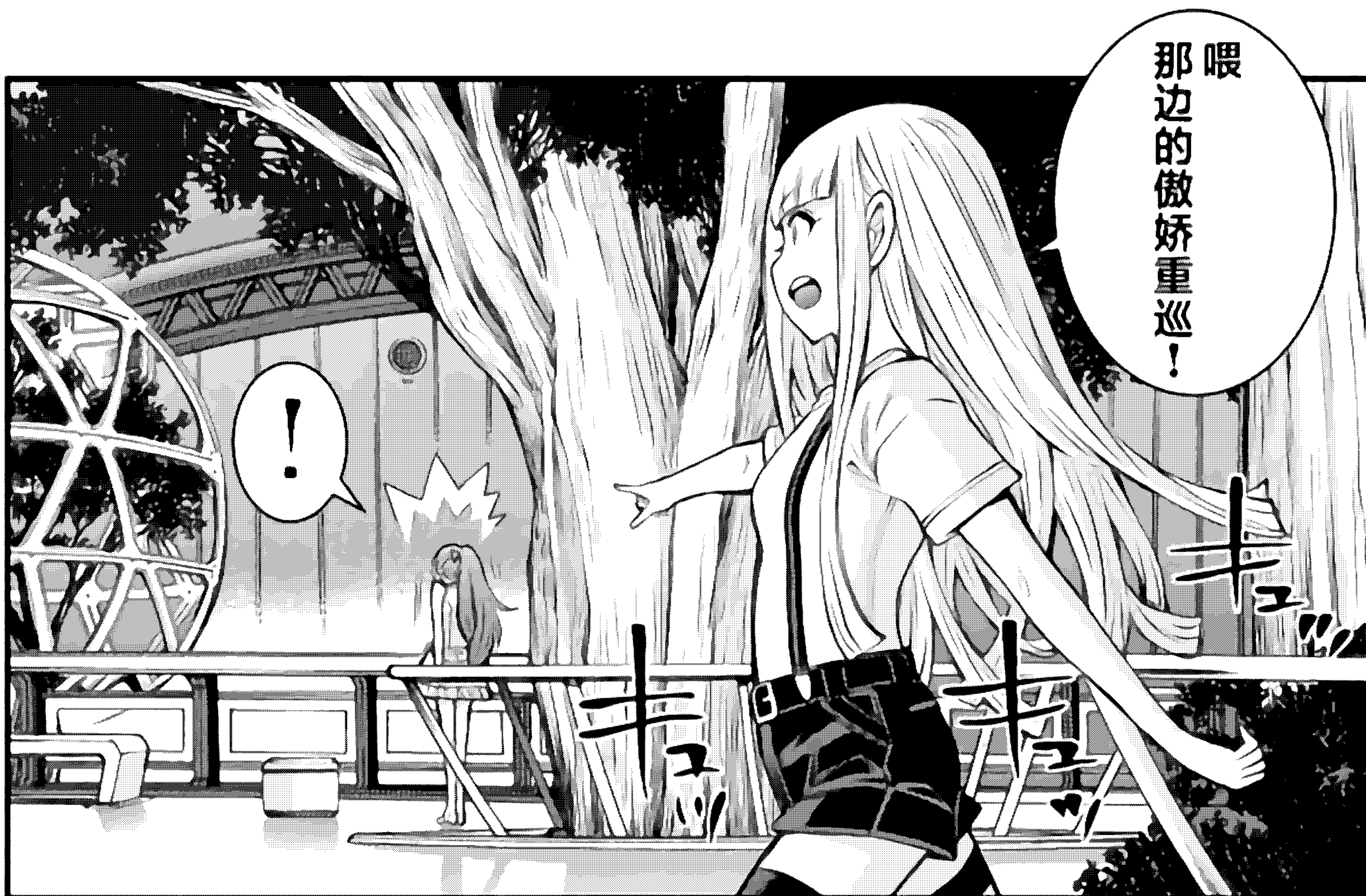


这又不是  
禅学问答……



什么都不做  
也等于是  
做了一件事！

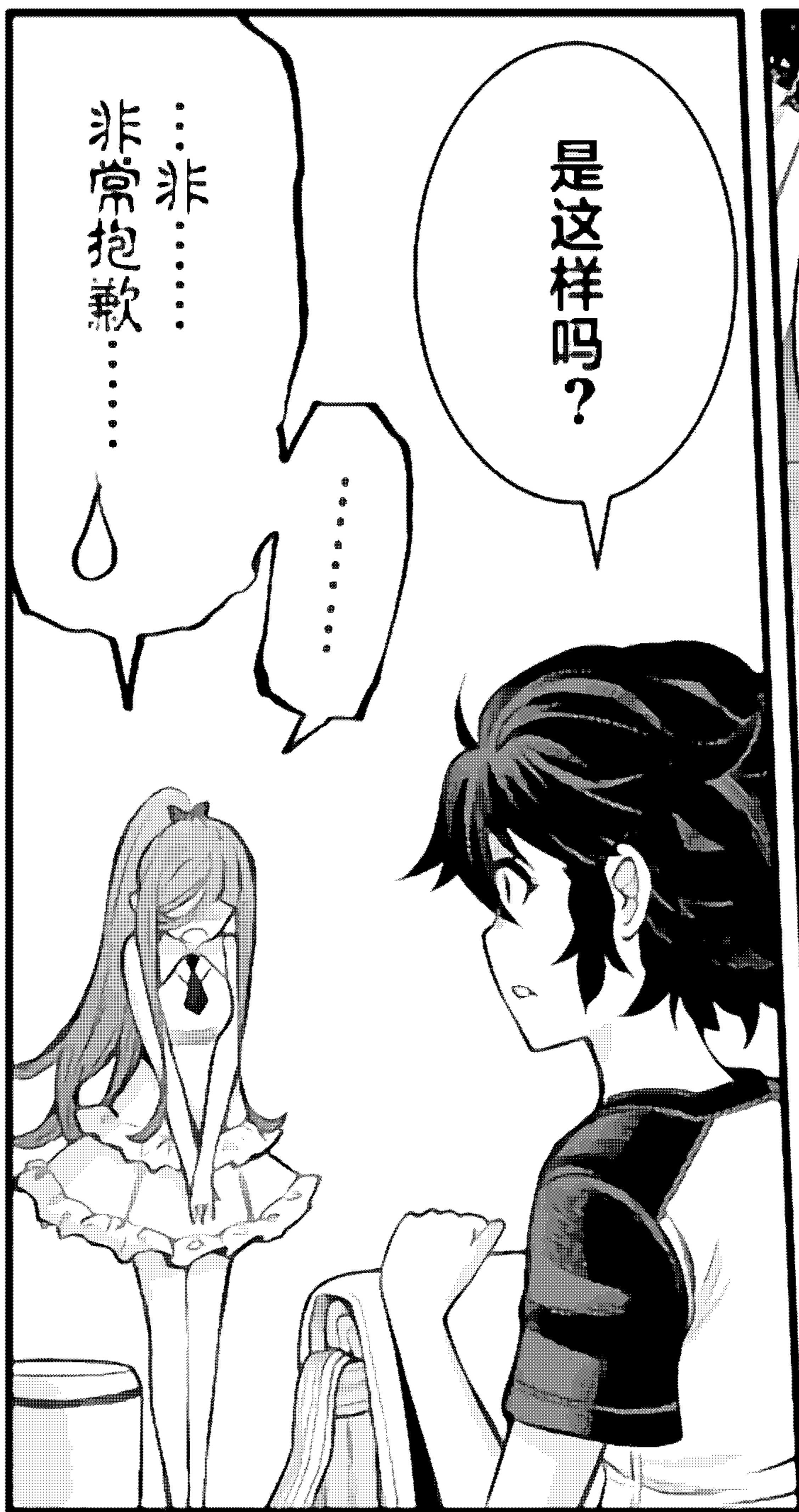






谁会做啊！

谁……



……非……  
非常抱歉……

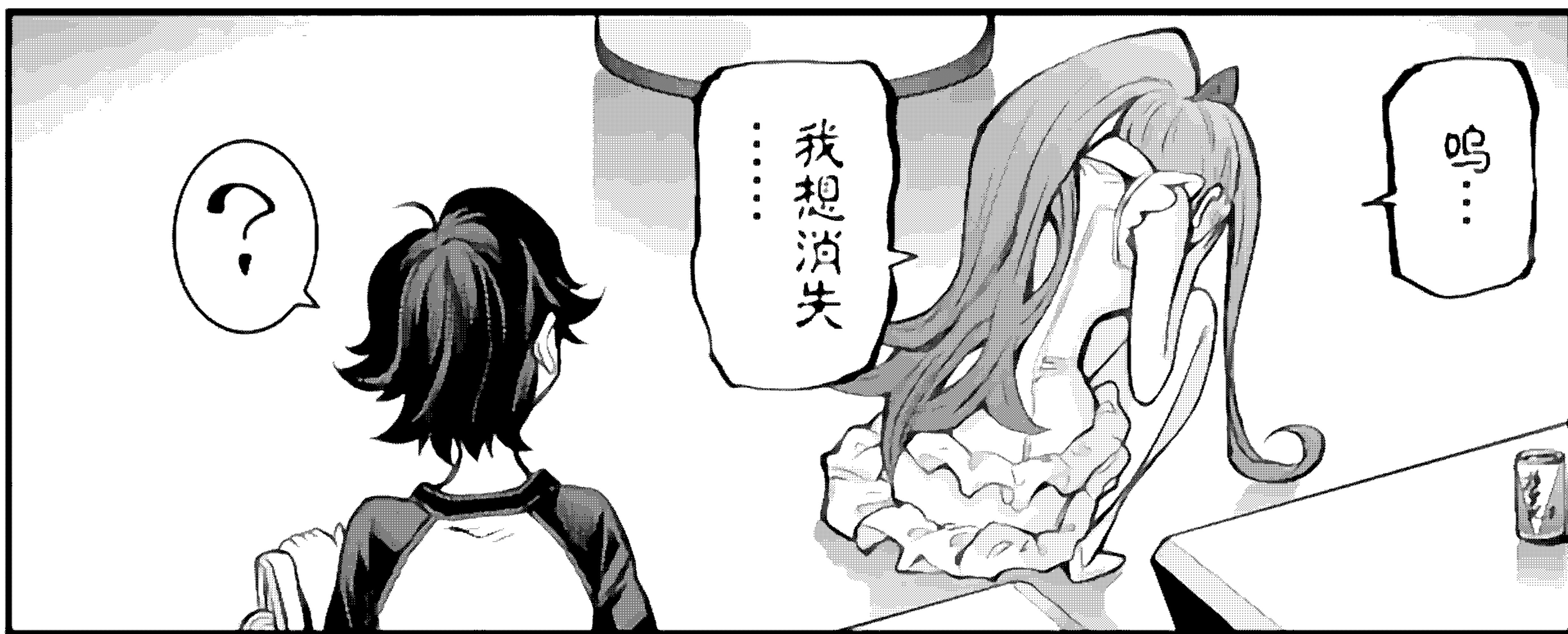
是这样吗？



而且你最近  
快把傲娇的傲  
给忘光了

天天就知道娇  
真是的



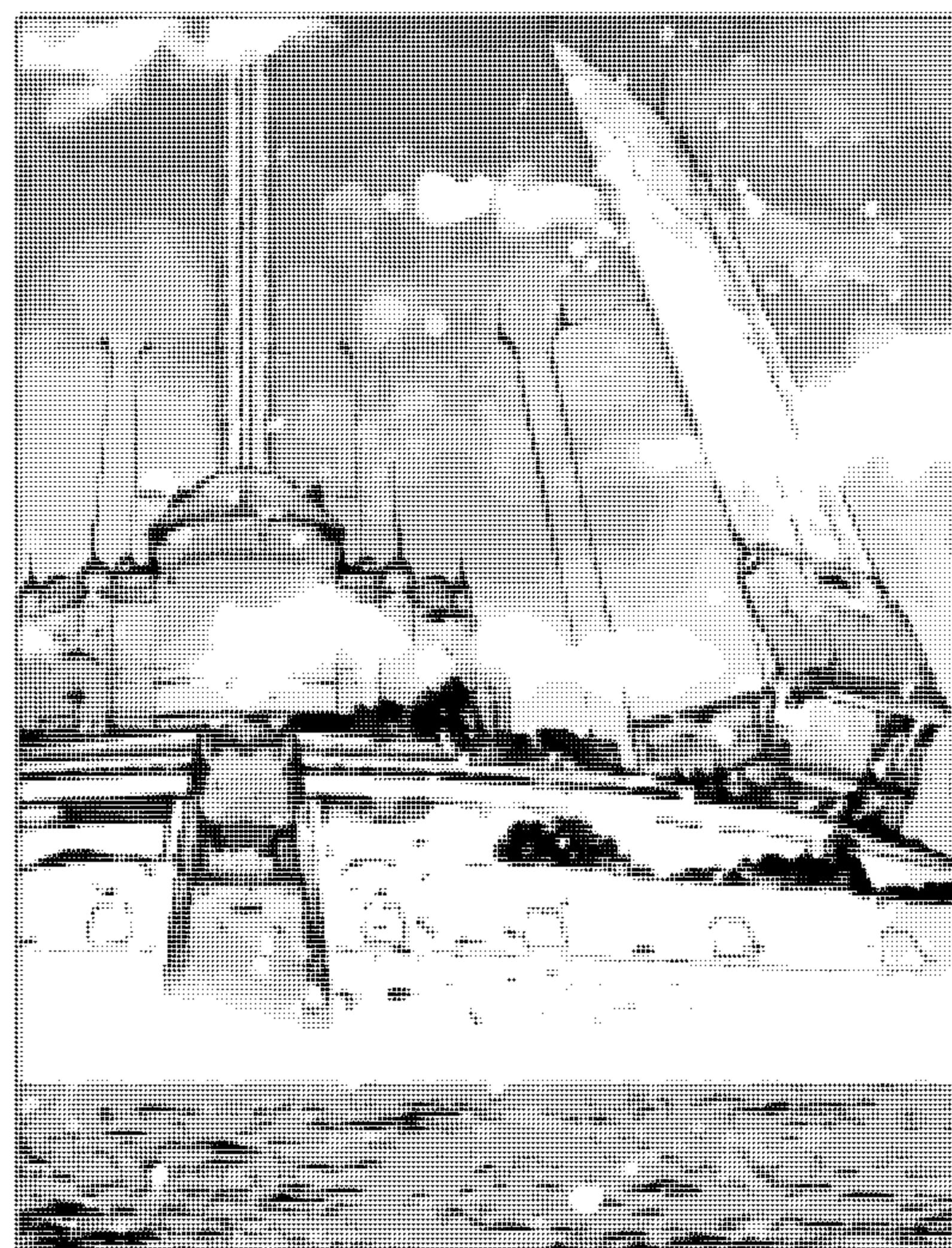


▼素直すぎるぞ、タカオ……（汗）

蒼き鋼のアルペジオ

# 蒼界 解体新書

文・画／Ark Performance



第6回  
「海洋プラットフォーム」その1

このテキストはArk Performanceが「蒼き鋼のアルペジオ」を自ら解説するために書かれている。なので劇中の内容だけではなく、メタ的な内容も記載している。目的としては「作品を創る上で必要であったが、劇中では掘り下げた表現をしない」であろう設定などを残すためだ。そのため、このテキストを読み思考を巡らせた結果、思わぬネタバレに行きつく可能性もあるテキストとなっている。このテキストを読む方々はその点、留意願いたい。

タイトルは我々が持っている未公開の設定資料を解体書と定義し、様々な新設定などを加えた本書を解体新書とした。

第6回目となる今回はこれとした。

## 「海洋プラットフォーム」その1

「蒼き鋼のアルペジオ」は主な舞台の一つとして海を用いた作品だ。その海に、本作独自の色付けを見せているのが、巨大海洋プラットフォーム「ハシラジマ」と「プテリュクス」である。

この二基の海洋プラットフォームは、まだ海洋で人類が活動出来ていた頃に、人類の手により建設された軌道エレベーターのためのプラットフォームである。本作を企画した頃の設定資

料を紐解くと2035年に「ハシラジマ」が、2036年に「プテリュクス」が完成したと記している。今もこの設定に変更は無い。今回はこの二基の人工島の内、第一号島である「ハシラジマ」について記すこととする。

軌道エレベーターは地上と宇宙を結ぶアイデアとして、我々の時代、2020年代以前から度々話題に上がっている。これを記している2025年にはまだ技術的、経済的、そして政治的ハードルが高く実現の目処は立っていないが、物語の世界線では2035年にそれらを達成している。



▲「ハシラジマ」建造は人類の大事業のひとつだ【8巻 69頁】



# 蒼界解体新書

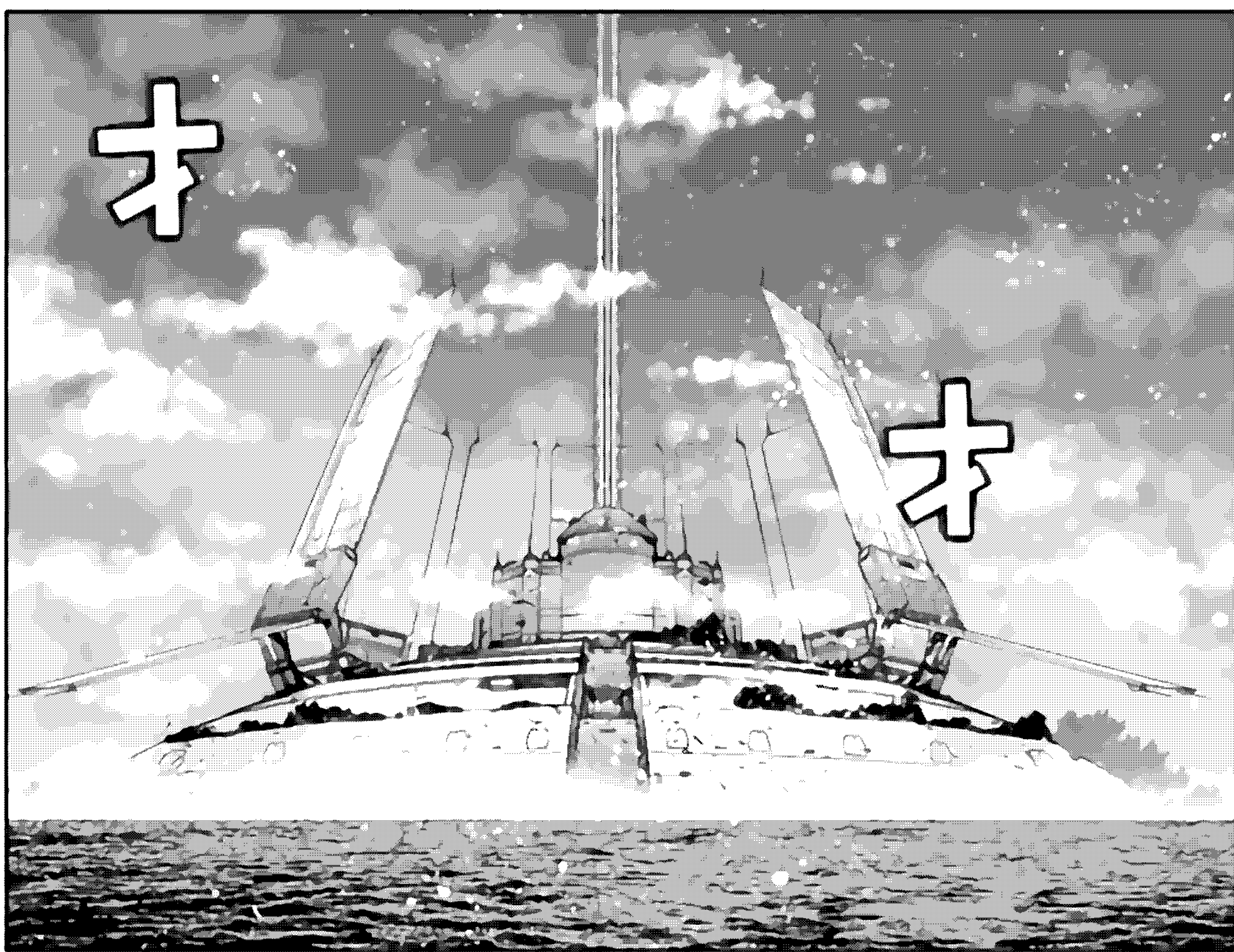
Anatomische Tabellen  
der blaue Welt

第一号島となる「ハシラジマ」が設置された場所は、太平洋赤道付近のキリバス島近海の公海上だ。そしてその目的は月面開発である。設置場所が海上なのにはいくつか理由がある。

第一に万が一の事故に関して考慮されているからだ。軌道エレベーター天頂部のカウンターウェイトを果たしている構造物が何らかの理由で喪失してしまった場合、それ以下に連なる施設やケーブル(特に静止軌道以下の物)は崩落しながら地上へ落下するものと考えられるため、軌道エレベーターは陸地から離れた海上に建設せざるを得ない。

そして第二に政治的な配慮である。この施設は月面開発と言う目的を持った性質上、その存在はいかなる国家や組織などに対しても開かれた存在でなくてはならなかった。1967年に発効した宇宙条約に配慮したためだ。この条約は、打ち上げなどに対する責任の所在などを規定する項目に対して、やや問題を含んでいるものの、2035年においても未だ有効な条約であった。いかなる天体と空間に

対しても領有を禁止し、自由な探索を保障すると言う条約の観点から、特定の国家や国家連合、または企業や何らかの団体がこの建設プロジェクトを主導していても、宇宙開発においては中立で公正であると言うポーズをプロジェクト非



▲Depth079で初登場の「ハシラジマ」は軌道エレベーターを運用するための巨大施設として建造された【⑩巻 176頁】

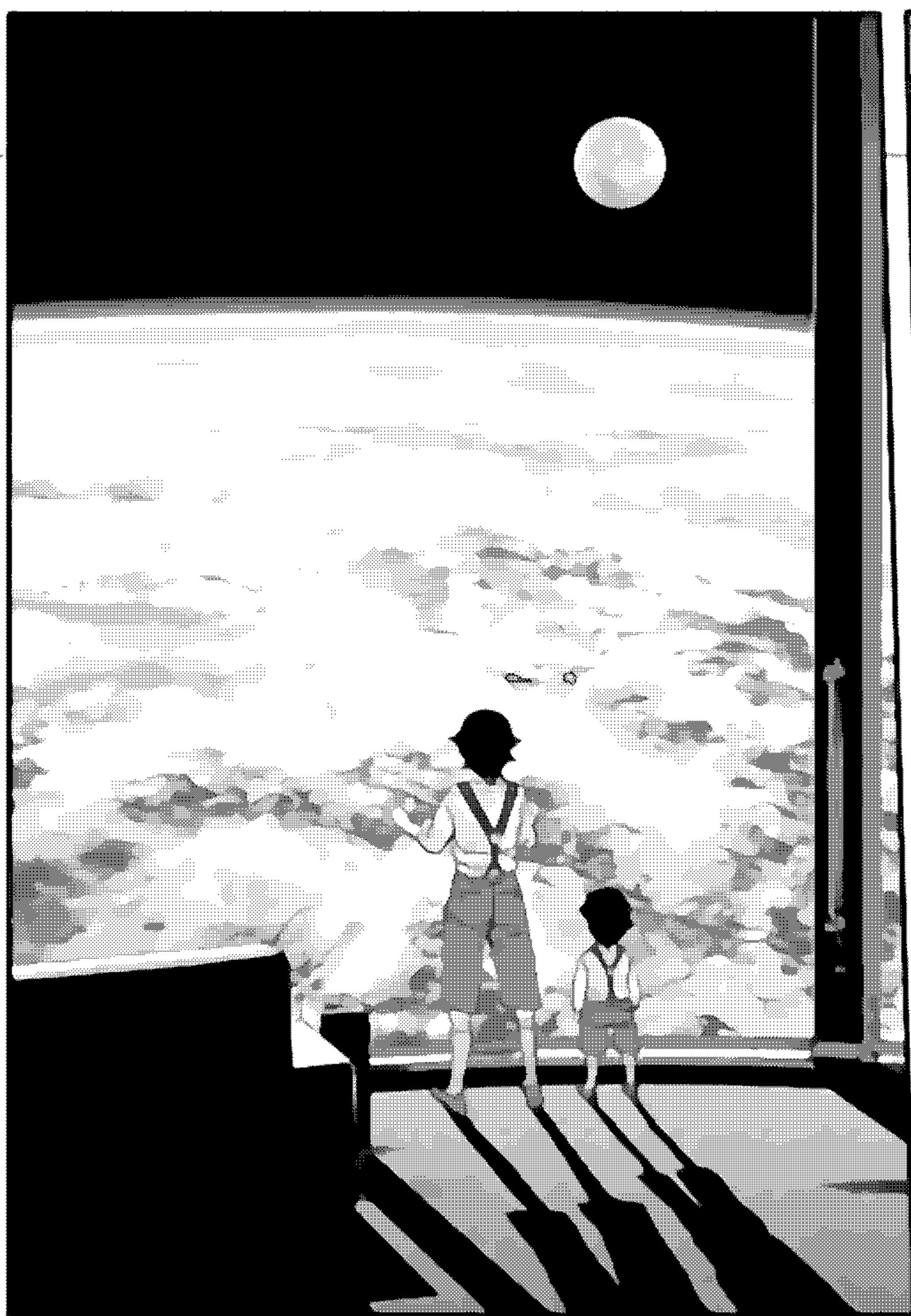
参加国などに対してとって見せなくてはならなかった。特に月面に関しては、占有を企図すれば国際問題の火種になりかねない。

第三にエレベーターを構成するケーブルにかかる張力の数値や、静止軌道を利用したいと言う技術上の要求から、赤道付近を選択しなければならなかった。主にこの三つの理由から「ハシラジマ」を設置する海域は慎重に決定された。

## 太平洋に浮かぶ巨大な人工都市 「ハシラジマ」とは？

「ハシラジマ」建設計画に関与したのは太平洋に面する諸国や企業、研究、開発団体など大小合わせて600以上に上る。それらが資金や技術、建設のための場所や人員などを提供して建設は行われた。主導したのは日本とアメリカ、RCEP協定加盟国である。特に宇宙開発の分野での地位向上を果たしたい日本はこのプロジェクトに大きな期待を託した。様々な活動や実績が実った結果、建設プロジェクト名は「ツクヨミ」、建設される人工島の名は「ハシラジマ」と命名される。日本は出せる限りの人的、物的リソースを注ぎ込んだのだ。しかしこの後、霧の海上封鎖により「ハシラジマ」を失った際、最も痛手を被ったのは日本と言うことになってしまふ。

建設の際、最も大きな人工島の基礎部分は海面上昇で失われつつあったキリバス島を拠点と



▲ヴァーディクトに連れられて行った軌道エレベーターから地球を見下ろす群像&グンゾウ【⑩巻 90頁、112頁】

ために用いられている。

動力源は小型モジュール炉12機を分散配置した原子力発電を用いている。炉は全て海面下に設置され、燃料はトリソ燃料が採用された。補助電源としては島の各所に配置された高効率ソーラーパネル、海面域に設置された波力発電設備、そして軌道エレベーター頂部などに広域展開型ソーラーシートが設けられている。これらの補助電源の他に、余剰電力を蓄電するための大型電池が人工島の4か所に分散して配備してある。

し、設置予定海域近海で建造されたが、多くの部位は参加国家や企業がそれぞれで建造、海洋輸送を行い、設置予定海域で組み立てている。軌道エレベーター「ハシラジマ」の土台である人工島に移動用設備があるのは、この建設時の名残でもある。なお、これら移動用の設備は「ハシラジマ」完成後、海流などの影響を補正する

軌道エレベーター部の構成概要の基礎は全長約10万キロメートルにも及ぶ炭素系繊維のケーブルだ。これは月面基地建設と、その後の補給や人員輸送などの月面開発事業を考慮に入れて決定された長さである。ケーブルの材質に関しては、計画時にはグラフェンリボン、ダイヤモンド・ナノスレッドなども検討されたが、両素

材は生産性と品質にまだ課題を残しており、最終的にはカーボンナノチューブを用い、ところどころ補強材としてカーボンナノチューブ・ポリマー複合体を使用している。

そして地上から700キロ地点に低軌道ステーションを建設。低軌道を活用するあらゆる事業や研究などを行える物とした。またここには観光ホテルなども置かれ、大海戦以前は著名な観光スポットとなっていた。加えてこの低軌道ステーションには、あらゆる周波数の送受信システムや、レーザー通信システムが設置されており、通信や放送の中継などにも寄与している。これもおそらく霧は活用していることだろう。その先、地上から約3万6000キロ地点に静止軌道ステーションが設けられた。ここは人工衛星の放出や無重力環境を活用する研究設備の運用と管理などが主な役割となっている。

最後に静止軌道ステーションから6万4000キロ先。地上から10万キロのポイントに天頂部としてカウンターウェイトとなる構造物を兼ねた月往還ステーションを建設した。ここは文字通り月との間を往復するシャトルが発着ステーションとして活用しており、宇宙飛行士などの訓練基地としても機能していた。

さらにはケーブルの至る所にメンテナンス用のポストが130基、監視と保守点検を行うドローン用の充電・格納施設が260基設置されている。ケーブルやエレベーターの保守点検は、





▲「ハシラジマ」の潜水艦用ドックで建造されているイ401【9巻9頁】

人間の監視下でA-1が行っていた。  
なお、この軌道エレベーター部は緊急時には丸ごと切り離すことが可能である。だがその場合、アンカーである人工島部分は最悪海中に没することもあり得るため、気密エリアが多数設けられており、人工島の住人などはここに避難することとなっていた。

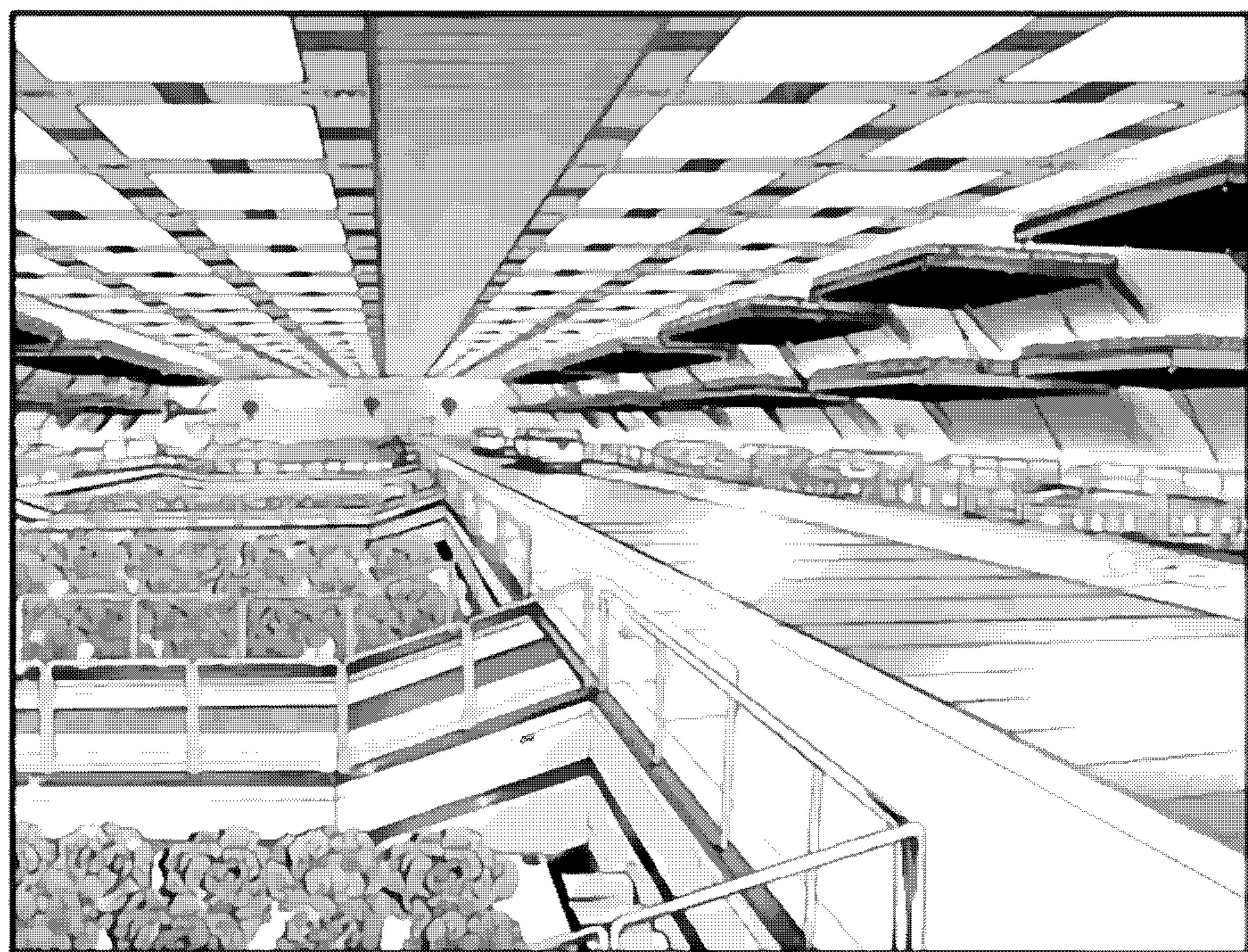
### 軌道エレベーターの運用を支える 「ハシラジマ」の多様な施設

基部（アンカー）に当たる人工島部分は一種の海上都市となっており、軌道エレベーターを管理する者達やその家族などが暮らせるよう様々な施設が設置された。ショッピングモール

や公園、教育施設や研究機関、果ては冠婚葬祭などに関する施設なども建設された。また軌道エレベーターや海洋、海中の展望施設などは観光地にもなっており、それに関係するホテルなどの観光施設も徐々に追加され、霧の接収前は海上都市と言っても差し支えないほどの居住エリアを完成させていた。食糧生産や真水の供給なども大規模に行っており、また漁業などの拠点としても活用されていたため食料自給率は60%を達成。これが後に起こる大海戦後に取り残された人々を生存させる一助となる。

港は大中小合わせて48か所用意され、海中には潜水艦用のドックも4か所存在していた。霧の艦隊に接収された後は、この港のいくつかを改装・改修し、艦艇が建造できるほどの機能を持たせている。つまり霧が接収後の「ハシラジマ」は艦隊の海上拠点として運用され、最大で大小48隻の海上艦艇を補給、あるいはメンテナンス出来る施設となった。海面下にある潜水艦用ドックも運用されており、現在、イ401は艦橋部以外の船体をここで新造されている。

海上施設には、大小のヘリポートが分散して80か所程度設置され、垂直離着陸が可能な航空機なら離着陸できるようになっていた。またそれを可能とする航空管制設備も充実し、一時は「ハシラジマ」を中心とした2万4000メートル四方の、地上から高度3万メートルまでのエリアにおける航空管制を担っていたこともある。



▲作中では、最低限の食糧生産や真水の供給が行われている【10巻163頁】

劇中ではこの機能も霧に把握されており、対空監視施設として運用されている。

一方、軌道エレベーターに関しては、運用された形跡はなく、霧は宇宙に対してあまり関心を抱いていない。ただ、劇中、「千早群像」を完全治療した元アドミラルティ・コードのヴァーディクトは、彼と謁見した際に軌道エレベーターを動かしてみせたことから、過去に動かしてみた経験があると見られるが、この辺りはこれらの事なので言葉を濁しておく。

人類が宇宙への足掛かりとして建設した夢と野望の島は、霧の拠点となり人類の海洋進出を阻み続けた。そして彼女は天より「ハシラジマ」から降り、彼の地に帰還を果たしたのである。

（第6回『海洋プラットフォーム』その1完）





大戦艦  
「ヒュウガ」

新キャラクター登場!!

《人類》と《霧》の戦局と関係に  
大きな変化が起こる、第29巻!

行って参ります

蒼き鋼の

ARPEGGIO  
OF BLUE STEEL

Ark Performance

29

ハシラジマでイ401の再建が進む中、  
米国では千早群像の密命を受けた真瑠璃が  
正体を隠したグレーテルとワシントンへ。  
そして白鯨を歓待していた米軍に  
怪しい動きが始める……



絶賛発売中!!

◀29巻は、この表紙が目印!